



子どもと高齢者の皆さんに聞いてみたピヨ!

保育園前通り

- 狭い道なのにクルマがスピードを出していたのでぶつかりそうになった
- 後ろからきたクルマにかぼんと腕がぶつかった

玉川四丁目(南)

- 交差点でクルマがものすごい速さで出てきた
- 角からタクシーが急に出てきた
- クルマとぶつかりそうになった

吉沢橋交差点

- 横断歩道で信号が青になって渡るときクルマが曲がってきて危なかった

はなみず木通り

- 自転車がすごいスピードですれすれを走っていった
- バイクにぶつかりそうになった

丸子川沿い

- 手をあげて横断歩道していたけどひかれそうになった
- ヘッドホンをしたすごいスピードの自転車の人にぶつかりそうになった

小学校北側

- えのきや前でクルマが急に出てきて危ない思いをした
- 狭い道に2台クルマがすれ違ってひかれそうになった

旧郵便局前

- 自転車が猛スピードで走ってきた
- 道幅が狭いので右折するクルマが寄ってきて怖かった

< 凡例 >

実際に事故に遭いそうになった場所 (ヒヤリハット)

- 小学生 - 歩いているとき
- 小学生 - 自転車に乗っているとき
- 高齢者 - 歩いているとき
- 高齢者 - 自転車に乗っているとき

PTA 二子にこパトロールでの危険指摘箇所 (大きさは件数の多さを表す)

道の特徴別に分けたエリア

小学生の声

高齢者の声

自転車に乗っているときの声

~主な特徴~

- ヒヤリハットの発生と、PTAによる指摘のどちらかが集中するポイントがある。(旧郵便局前や吉沢橋交差点付近など)
- 玉川4丁目の住宅街では、PTAからの具体的な指摘は多くないが、ヒヤリハットは全体に散らばって発生している。
- はなみず木通りでは自転車やバイクと事故になりそうになったパターンが多い。特に自転車の走行マナーを指摘する声が目立つ。

国道246号や環八通りのような交通量の多い幹線道路と比べて、住宅街の道路では、「人身事故とはならないけれども危険な状況」が多く発生しています。

住宅街における交通安全について、具体的な問題解決を考えていくには、お住まいの皆さんが実際に危ない思いをしたことについて、その場所と内容を整理することがとても重要となります。このような、事故に遭いそうになり「ヒヤリ」としたり「ハッ」としたりした経験のことを「ヒヤリハット」と呼んでいます。



確かに住宅地街のヒヤリハットは全体的に散らばっているな。でも、うちの社員には、30km/h を厳守させているからな。



商店街通りの交差点も危ないのね。でも、夕方は商店街でクルマ止めを出しているから、小学校前はとても安全で歩きやすいのよ。



他にも安全のためにまちの人でできることがあるかもしれないね。

